先生に贈った「愛の讃歌

日野原重明記念「新老人の会」東京

顧問



日野原重明記念

新老人の会」東京 会報

Vol.4/No.2

Keep on going!

2022.4

にあります。 してくださったのです。 日野原先生に最後にお会いした二〇一

の時、 せた少年のようでした。 た先生をハグさせていただきました。そ 私は驚いて客席に降りて、立ち上がっ 忘れません。瑞々しく頬を紅潮さ しっかりと向き合って感じた熱い

ターの弾き語りで歌ったのです。 プ現代+で、先生を追悼するために、 た「愛の讃歌」を、NHKクローズアッ 翌年の夏、 他界された時、 この時歌っ ギ

最後には車椅子から立ち上がって拍手を 後半は、私の歌を客席で聴いてくださり、 しっかりと舞台に上がって講演なさり、 六年十一月七日のことは、鮮やかに脳裏 一〇五歳の日野原先生が、 とができるのだと、この歌は歌ってくれて を去っても、そこから永遠の愛を生きるこ 十周年の翌年でした。 います。 ングしたのは二〇〇六年。 この歌を私自身の日本語訳でレコーディ 生きることは愛すること。

番の歌詞をどうして歌っていいか、 たからです。 この歌を歌うことができませんでした。 「もしもあなたが死んで 夫が他界した二〇〇二年、 しばらく私は 戸惑

終わりのない愛を 広い空の中を 私はかまわない あなたと二人だけで あなたと行くから 生き続けるために 私を捨てる時

去った後にこそはじまる「愛」 思い切ってこの歌を歌った時、 わりのない愛」というのは、 でも広がる永遠を感じたのです。 でも夫が他界して二年後のコンサー 人がこの世を なのだと。 突然どこま そう、「終 トで

2016年「新老人の会」 ジャンボリー東京大会で



加藤 登紀子

たとえこの

世

加藤登紀子

1965年、第2回日本アマチュアシャンソンコンクールに優勝し歌手デビュー。 唄」「百万本のバラ」「知床旅情」など日本の音楽シーンに残る数々の名曲・ヒット曲を生み出す。 ネギーホールでの2回のコンサートを成功させるなど日本を代表するアーティストとして活 躍。女優として『居酒屋兆治』(1983年) に出演、宮崎駿監督のアニメ映画『紅の豚』 では声優としての魅力も発揮した。日本訳詩家協会会長。https://www.tokiko.com

t o k i k

長生きして待とうよ

その時が少しでも早く来るのを老人は

平和の種を皆で空高く広げ、 真の平和を世界の隅々まで広げていこ もって前進また前進だ 他をいつも配慮する愛の寛き心で を切に待ち望んでー 蒼穹に平和の鳩が大きな輪を描く日

勇気を

爾さん、吉永小百合さんとともに世界 訴えておられます。二〇〇五年に広島 中でも、平和を希求する思いを切々と 書『平和と命こそ』(新日本出版)の れた後半部分をご紹介します。 れています。先生の強い願いが込めら こで朗読された詩がこの著書に掲載さ 送る平和のメッセージ」では、小澤征 で開催された被爆六十年記念「世界へ 責務がある」ということでした。ご著 もたちに、平和と愛の大切さを伝える 命として掲げたことは、「戦争を体験 てい許されることではありません。 に向けて強くアピールされました。そ した老人世代こそが、次代を担う子ど 日野原先生が、「新老人の会」の使 ロシアによるウクライナ侵攻。

平和の日を子どもたちが (前略)

歌手としての四

国境を越えて国民のいのちを互いに愛 し合おうよ

ゆるしをもつ愛こそが世界の隅々にま で平和をもたらすのだ。 (中略)

世界の子どもたちが大人になる日まで 合って生きてきた話を 家族や友人同士 互いに寄り添い助け 戦争や原爆を経験した老人たちは 子どもや孫に伝えてもらおう

平和の世界が必ず実現されることを老

人たちは強く念じて

「日野原先生の精神(こころ)を継ぐ」8 妻を通して気づいた自身の死



在宅ホスピス研究所パリアン 代表 川越 厚

け、七月十八日に呼吸不全のためご自宅 族の手厚い看病を受けながら療養を続 次男の妻の眞紀さんを中心としたご家 脱した先生は退院してご自宅に戻り、御 を彷徨われました。その危機を奇跡的に こし聖路加国際病院へ入院し、生死の境 と、先生は三月中旬に嚥下性の肺炎を起 よって知ることができます。それによる 世界』(中央法規出版二〇一七)などに 年八月一日放映)や書籍『日野原重明の 日野原重明ラストメッセージ、二〇一七 二〇一七年三月三日。気になっていたそ で逝去されました。 ズアップ現代+(、死、をどう生きたか 後の先生のご様子はNHKのクロー 重明先生のお宅を私が訪問したのは

妻の老いを通して実感した。先生自身の死

告白されています。 満ちた表情で、先生はカメラに向かって 明先生が訪問した時の場面です。苦渋に へ入院された奥様の静子様の病室を、重 とがあります。それは、聖路加国際病院 テレビ番組を見ていて大変驚いたこ

> でなかった」 んなにシリアスに訴えてくることは今ま 「私自身の生き方とか、命を考える。 こ

> > の柳田先生は、見るからに憔悴しきった

御愛息を自死という形で失ったその時

人称による死の違い

小声で、「人称による死の違い」について

時間以上にわたり熱く語られました。

「自分はこれまで多くの人の死を取材

ご様子でした。それでも絞り出すような

を語っていらっしゃいます。 これに対して眞紀さんが、正直な思い

思い、やっぱり怖いっていうのってあるの だなと」と。 さがあるよね』っていうようなことを 言ったんですよ。人の死をたくさん、七 十五年も臨床医をやっていらしてそんな いないから、そこにはやっぱり不安と怖 「義父は『未知の部分で自分が体験して

まで違うことを改めて経験した」

は返す言葉がありませんでしたが、「人

先生の深い悲しみと苦しみを前に私に

死は特別だ。人称の差によって死がここ での死。同じ死でも二人称である息子の

れはホスピスケアの大原則です。御愛息

して治療中の静子さんの夫である重明先 を失った柳田先生には遺族ケアを、入院 いた。だがこれはあくまで三人称の立場 しており、『死が分かっている』と思って

九五)を上梓される直前の話です。 見ながら、先生が、自分自身の死〟につ が、それよりも「妻・静子さんの様子を 11日 - 柳田邦男の手記』(文藝春秋、 を思い出しました。これは、先生が『犠 の院長室へ私を訪ねていらした時のこと つつ、今から三十年近く前(一九九五年 きました。「重明先生ほどの方が」と思い いて真剣に考えた」ことに対して大変驚 月)、作家の柳田邦男先生が賛育会病院 私も同じような感想を持ったのです (サクリファイス) わが息子・脳死の

> 医療の現場で人の死に関わりながら、患 ばらしさに感服しました。当時私は在宅 的な表現。作家・柳田先生の表現力のす させられました。極めて科学的かつ文学 称による死の違い」という表現にハッと



柳田邦男先生

ホスピス協会第7回 公開講演会にて)

苦しみ嘆き、死に際して慟哭し、亡くなっ なるわけではありません。しかし死に逝 考え方です。看取る家族はもちろん亡く ケア、いわゆるグリーフケアを行う。こ 過程で、プログラム化された必要な家族 を経験します。愛する者の死を予期して く人と同じ、あるいはそれ以上のつらさ 者さんを対象にした看取りのケアです。 た後も悲嘆にくれるのです。その一連 ホスピスケアにおける患者と家族の捉え方 いくつか重要な哲学がありますが、その 一つが「患者と家族で一人の病人」という ホスピスケアは、 死を目前に控えた患

した。 身の死を見つめるきっかけになったこと 明先生が妻・静子さんの老い、その先に 家族も患者と同体です。そう考えると重 生には家族ケアを行うことが重要です。 は、ある意味で当然のことと理解できま ある死を具体的に見つめる中で、自分自 れっ?〟と戸惑いを覚えました。しかし、 番組を見ながら、確かに最初は、あ

した。 らの死を考える大きな機会を提供しま 静子さんは重明先生にとって大切な伴 その死は深い悲しみと共に、先生自

うな捉え方の背景には学生時代傾倒した

M・ブーバーの、『我と汝』の人間理解が

という言葉で理解していました。そのよ 者さんの死を「(家族) 関係における死

静子さんの老いを通して自らの老い、死 あったように思います。重明先生が妻

を深刻に捉えられたということは、柳田

先生のつらい体験と共通するものを感じ

特集

コロナ禍を生きる

長谷 行雄(八十五歳 東京都)

○ 人生を生きてゆくには夢あれと 時の感動を直後の短歌誌に詠いました。 その 最後にお目にかかったのは、亡くなられ 最後にお目にかかったのは、亡くなられ

● 一○五歳の老医師のメッセージ重し 一○五歳の老医師のメッセージ重し

ました。れていたのが私の心に響き強く共鳴しのちとは君たちの〝時間〞です」と語らのちとは君たちの〝時間〞です」と語ら子供たちに「いのち」のお話をされ「いまた、先生が小学校まで出向かれ、

十五歳の余生を生きたいです。ひとりの「時間」とその尊厳が大切にさ世界の厳しい現実に立ち向かって、一人世界の厳しい現実に立ち向かって、一人

萩原 明子 (七十九歳 東京都)

周年記念事業で出版された本『語り残すれ、一五歳(現一〇六歳)の母は、私に「この会への入会手続きをして頂戴」と云いの会への入会手続きをして頂戴」と云いには母は出席できなかったのですが、一には母は出席できなかったのですが、一には母は出席できなかったのですが、一会の設立の旨新聞記事を見て、当時八

のが私の役目でした。ました。その後も出版されると購入する戦争体験―私たちの遺書』が送られてき

本には四人の孫がいます。 一九十五歳のわたしから』を贈りまたのですが、同窓生が長崎原爆資料館でした。私は高校の三年間を長崎で過ごした。私は高校の三年間を長崎で過ごしたのですが、同窓生が長崎原爆資料館でした。私はは四人の孫がいます。十歳のお誕生祝いには各々に先生の御著『十歳のお延

高野 泰三郎(七十七歳 東京都)

フォーマンスをなさり盛り上がっていまお元気な日野原先生がステッキ投げのパ強制連行されたのが始まりで、そこでは強制連行されたのが始まりで、そこでは

総会後の二次会の写真を今改めて見ていると、オンラインでお目にかかっていたが、深い教養に裏付けされた卓越は、こちらの偉い方々と馴染めるか心配は、こちらの偉い方々と馴染めるか心配は、こちらの偉い方々と馴染めるか心配は、こちらの偉い方々と馴染めるか心配は、こちらの偉い方々と馴染めるかで見ていると、オンラインでお目にかかっている会がのことでは、

入会したのは保健師として在職中でし高野 敦子(七十四歳)東京都)

息吹が感じられました。

良吹が感じられました。

泉吹が感じられました。

泉吹が感じられました。

泉吹が感じられました。

泉吹が感じられました。

泉吹が感じられました。

です。
です。
です。
の忌まわしいハイジャック事件、地あの忌まわしいハイジャック事件、地あの忌まわしいハイジャック事件、地あの忌まわしいハイジャック事件、地

中溝 一仁 (四十八歳 静岡県)

に、薔薇一輪を飾ろう。「冬薔薇」に母上

への深い思いが伝わります。

「日野原先生、今日もポケットチーフが素敵ですね」。二〇一五年の「新老人の会」富士山支部主催のフォーラムの際、の会」富士山支部主催のフォーラムの際、が素敵ですね」。二〇一五年の「新老人が表敵ですね」。二〇一五年の「新老人が大人機会をいただきました。

現在、私は関東の大学で専任教員を、また静岡では会社の代表として活動してとを学び、語り始めたらきりがありません。新型コロナは私たちに多くの困難せん。新型コロナは私たちに多くの困難ながら少しでも社会に貢献できればとながら少しでも社会に貢献できればと思っております。

会報誌上句会『トキメキ句会』

出度さも感じられます。
出度さも感じられます。
出度さも感じられます。
出度さも感じられます。
出度さも感じられます。
出度さも感じられます。
出度さも感じられます。
出度さも感じられます。

は葉踏む今日のノルマの二百段 要子 本主。今は使われていない鏡台、空っぽの母の鏡台冬薔薇 夢里 空っぽの母の鏡台冬薔薇 夢里 空っぽの母の鏡台冬薔薇 夢里 空っぽの母の鏡台冬薔薇 夢里 空っぽの母の鏡台冬薔薇 夢里

とつであって、正解はないのです。三人の 成する、訳です。この稿で最初の三句を 句会では、自作の披露と、仲間の作品の であり、殆どの俳人は詠み、読む、ので。 読み手がいれば三様の読み方があるかも 私なりに読んでみました。これは読みのひ です。作品は多くの人の目を通して、完 その舌足らずを補うのは読む人の想像力 心情を述べたりする事が難しい詩です。 春潮へ散骨といふ別れかな 到来の羊羹母と春の昼 黄砂降る遺跡の真珠誰が耳に しれません。詠む、と読むは俳句の両輪 春宵のべた凪の湖帆走す ブランターの葉物乾らびる余寒かな 寛子 俳句は短いので、いろいろと説明したり、

吟味という二つの楽しみがあるのです。

『語りつごう あの日 あの頃』朗読会 に参加して

端 千枝 (東京)

昨年11月28日、コロナ禍により直前まで無観客での予定でしたが、ワクチン2回接種を条件に50名を超える皆様の前で朗読会を開催することができました。

私は、広島で被爆され3人のお子さんを育てられた母の証言を、被爆当時5歳だった娘・大竹幾久子さんが聞き書きされた文章を朗読しました。原爆投下後46年を経て70代になられた母と娘が記録された文章です。朗読の経験のない私は、あまりにむごい描写に、淡々と語ろうと思いましたが、朗読指導の児玉朗先生は「もっと感情を出して!情景を思い浮かべて!」と厳しい。聞き手がどれだけ語られた情景を思い浮かべることができるかが大切であると学びました。

地元・広島に居た頃は8月6日8時15分には、どんな 状況にあろうと黙祷し平和の有難さを心に刻んだものでし た。広島を離れ半世紀近く、その習慣もいつしか忘れ、子 や孫たちに原爆や戦争の過酷さ悲惨さを伝えないまま過ご してきましたが、朗読会に参加し、惨禍を繰り返してはな らないとの思いを新たにしました。

そして、小泉靖子さんの3冊目の本を若い世代に手渡し思いを伝えることができました。広島での被爆体験者で昨年7月に亡くなった作家・那須正幹氏は、この本の「はじめに」へ「『戦後』を『戦前』にしないために、この本を読んで多くのことを学んでほしい」と寄稿されています。



「新老人の会」大阪代表・三木哲郎先生、岡山代表・武 用愛彦さんからも、この本を会員と共有し活用していきた いとのお便りが寄せられました。

2015年に出版された2冊目の「巻頭言」では日野原先生も「私たちが生の体験として戦争を語り継ぐにはもう時間がありません。本書が多くの方々の手に渡り、あわせて小泉さんの朗読会と出会われることを私は強く期待します。」とエールを送られています。非戦平和のためにできることを確実に継続していきたいと思います。





日野原重明記念「新老人の会」東京 2021年度会計報告

(2021年1月1日~2021年12月31日)

2021年度はコロナ禍により活動ができなかったため、会報の年4回発行と基本運営のみの支出であった。会員数減少に伴い年会費収入は減少しているが、賛助会員(10,000円)27件、会員の寄付があり、収入は昨年度より約24万円増加している。

1.収支 (単位:円) **収入**

前年度網	5,766,869					
年会費	会員229名 賛助会員27件	1,415,000				
寄付金	東郷和子様	5,000				
	原田さち子様	20,000				
	本田愛子様	45,000				
利子		6				
	合 計	7,251,875				

支出

ХШ				
会報印刷(年4回発行)	359,590			
会報送料	165,220			
印刷費 (会報以外)	37,950			
謝金(原稿、HP管理)	50,000			
謝礼(さわかみ、LPC)	35,990			
寄付(iPS 細胞研究財団)	120,000			
通信費 (郵送料、電話料金など)	86,789			
消耗品費	10,735			
物品購入費	10,000			
郵便局払出料金 (年会費入金)	52,738			
雑費	3,360			
払込手数料	2,740			
当期支出合計	935,112			
次年度繰越金	6,316,763			

2. 貸借対照表 (2021年12月31日現在)

科目		科目	
資産の部		負債の部	
普通□座	110,612	未払金	0
当座口座	3,206,151		
定期預金	3,000,000	次年度繰越金	6,316,763
合 計	6,316,763	合 計	6,316,763

なお、定期預金の3,000,000円は日野原家からのご寄付です。

2022年2月11日関係書類を監査したところ、会計報告は適正であることを認める。

監事 関谷 真一

☆ご質問、ご意見がございましたら、Eメールアドレス (t.shinrojin@gmail.com)、ハガキなどでご連絡ください。

新老人の会」東京

2022年 会員数311人(256件) 2021年 会員数310人(256件)

会員募集中!

個人・家族会員 5,000円 賛助会員 (一口)10,000円

編集後記

加藤登紀子さんから原稿をいただきました数日後に、ロシアによるウクライナ軍事侵攻。加藤さんは、日比谷公園の「3・11未来へのつどい」コンサートで「この時代に武器を手にすることは、本当に恐ろしいこと、考えられないこと。国と国とが激突している時代ではない、人間が生き延びられるかどうかについて、同じテーブルで対話を始めなければならない時代です。これから日本を守るのは平和の力しかないと思います」と強く訴えられました。【加藤登紀子公式ホームページ(https://www.tokiko.com)】から

同封のチラシにあります、7月9日(土)のオンライン講演会「あなたの1日が世界を変える」に、ぜひ、ご参加ください。

■発行所 日野原重明記念「新老人の会」東京 〒102-0082 東京都千代田区一番町29-2 進興ビル4階 https://shinrojin.com/

TEL:080-7310-5050 (平日10:00~15:00) FAX:03-3265-1909 ■発行人

■発行人 石清水由紀子

■編集責任者 五百木幸子

■印刷 佐川印刷株式会社